

Cisco 7800または8800シリーズマルチプラットフォーム電話キー拡張モジュールでのコールパークの追加

目的

コールパークを使用すると、電話機のユーザは着信コールを保留にして、別の電話機でコールを取得できます。電話機の[パーク(Park)] ソフトキーを押してコールをパークすると、コールを取得するためのコードが表示されます。コールを取得するには、パークされたコールを取得する内線番号にコードをダイヤルします。コールパークは、着信コールがある場合のみ使用できます。この機能は、電話機またはコールマネージャを使用して設定できます。コールパークは通常、ページング機能とともに使用されます。コールパーキングは、内線が別の建物にあり、受付係が別の建物にある場合に便利です。以下に、いくつかの例を示します。倉庫への電話が金物店の電話システムに入ってくる。受付係はコールをパークし、倉庫にページングして、コールが特定の内線にパークされていることを伝えることができます。

この記事では、キー拡張モジュール(KEM)にコールパークを追加する方法について説明します。これは、電話機とKEMが動作していることを前提としています。

該当するデバイス

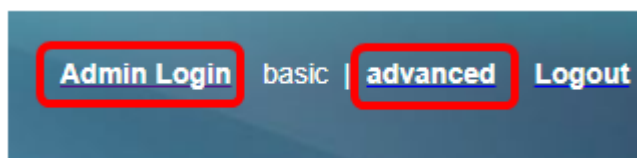
- CP8861
- CP8851

[Software Version]

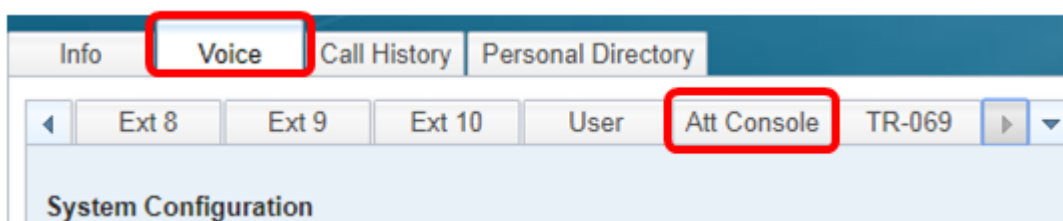
- 11.0.1

コールパークの追加

ステップ1：電話機のWebベースユーティリティにアクセスし、[Admin Login] > [advanced] をクリックします。



ステップ2:[Voice] > [Att Console] をクリックします。



ステップ3：選択した回線キーにコールパーク拡張機能コードを入力します。

場所 :

- fnc : 拡張関数の定義
- [内線(Ext)] : ダイヤルする電話番号または内線番号です。
- [名前]: (オプション) ダイヤルする内線番号の名前です (例 : John Smith) 。 指定しない場合は、スピードダイヤル番号が表示されます。

Unit 1	
Unit 1 Key 1:	<input type="text" value="fnc=prk;sub=\$USER@PROXY;nme=Park-Slot1;orbit=5551234"/>
Unit 1 Key 2:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 3:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 4:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 5:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 6:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 7:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 8:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 9:	<input type="text"/>
Unit 1 Key 10:	<input type="text"/>

注 : この例では、Unit 1 Key 1が選択されています。

ステップ4:[Submit All Changes] をクリックします。

<input type="button" value="Undo All Changes"/>	<input type="button" value="Submit All Changes"/>
---	---

これで、KEMにコールパークが追加されました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。